



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
9/20 (月)				祝日 (敬老の日)			
9/21 (火)	▲ 500	+ 75,000	+ 74,500	国債大量償還・ 利払い 国庫短期証券 発行・償還 (3M・1Y)			日 日銀金融政策決定会合 (22日まで) 米 FOMC (22日まで) 米 経常収支 (2Q)
9/22 (水)	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000		新型コロナ支援 ▲ 186,700		日 日銀金融政策決定会合後、黒田総裁会見 米 FOMC声明発表、FRB議長記者会見・経済予測 欧 コーロ圏消費者信頼感指数
9/23 (木)				祝日 (秋分の日)			米 新規失業保険申請件数 (18日終了週) 欧 ECB経済報告
9/24 (金)	トン	▲ 1,000	▲ 1,000				日 全国CPI (8月) 米 FRB、オンラインイベント開催 (パウエル議長・クラリダ副議長・ポウマン理事 参加)

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初528兆2,000億円から始まった。その後は国債・国庫短期証券の買入オペ等を主因に同残高は増加し、529兆7,300億円 (速報) で越週した。  
無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.016%で始まった。積み期終盤にかけて、地銀業態を中心に調達ニーズが弱まったことから、積み最終15日に同金利は△0.033%まで低下した。新積み期に入ると、再度調達ニーズが強まったため、同金利は複数日積みとなる17日には△0.022%(速報)まで上昇した。  
ターム物は、新積み期スタートの1W~2W物を中心に、主に△0.010%~△0.001%の水準で出が見られた。  
来週の主な予定は、国内で21~22日に日銀金融政策決定会合や24日に全国CPI (8月) の公表などがあり、海外では21日に米経常収支 (2Q) の公表や21~22日に米FOMCなどが予定されている。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.080 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.020
2M	△0.020 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.080 ~ 0.000

### <レポ>

足許GC取引は、週初から週央の積み最終日まで△0.07%~△0.06%のレンジで推移。積み期間が変わった16日の取引からは、一転して△0.10%~△0.09%水準となり、短国3Mの入札日となる週末の取引においても同様の水準で越週した。SC取引は2年409~428回債、5年137~148回債、10年333~363回債、20年163~177回債、30年69~71回債、40年9~14回債などに引合いが多く見られた。

### <CP>

今週の入札発行総額は約1兆円で、週間償還額 (約1兆円) と横ばいとなった。石油製品業や陸運業、電気機器等、幅広い業種にて大型案件が実施され、マーケットは活況となった。発行残高は先週末の24兆9,093億円から、16日時点で25兆915億円に増加した。発行レートは、希少銘柄等においては深いマイナスレートでの出会いも見られたが、大型発行案件や期内物については浅いマイナスレートでの出会いとなった。  
来週の週間償還額は、約8,500億円程度となっている。発行市場は、営業日が3日と少なく、期越えの発行に対し中間期末を睨んだ期日償還が多くなり、案件少なく落ち着いたマーケットが予想される。発行レートは、日銀オペ等の対象銘柄や期越物等では、引き続き深いマイナスレートでの出会いを予想する。

### <TDB>

9月16日の1Y1023回債(2022年9月20日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1101% (前回債△0.1271%)、平均落札利回り△0.1161% (前回債△0.1320%) となった。9月17日の3M1024回債(2021年12月20日償還)の入札は、最高落札利回り△0.1094% (前回債△0.1122%)、平均落札利回り△0.1135% (前回債△0.1174%) となった。来週は21日に6M、24日に3Mの入札がある。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。